

自主防瓦版

2024年
6月14日
(第140号)

延岡市
自主防災組織
連絡協議会
事務局
☎22-7105

結成しました

自主防災組織率
組織数
279組織
組織率
85.90%

令和5年10月1日
現在

防災訓練は災害
時に役立ちます

Topics

延岡市ホームページに「自主防災組織を考える」を掲載しています。
「延岡市 自主防瓦版」で検索してみてください。

令和6年度延岡市水防訓練

延岡市消防本部(田口孝消防長)は、令和六年五月十九日(日)五ヶ瀬川左岸河川敷で水防訓練を行いました。

国土交通省延岡河川国道事務所、陸上自衛隊第43普通科連隊、延岡警察署、自主防災組織など17機関から約350名が参加しました。

訓練は、大型で非常に強い台風が北上し、五ヶ瀬川の水位が上昇、洪水の可能性があるという想定で開始。故障車の搬送、排水ポンプ車の運用、支援物資搬送訓練、救出救助などの訓練を行いました。

このうち、消防団員ら約130名が土のうを使った水防工法を実施。今回は、女性消防隊「とよ姫隊」の団員7名と「機能別消防団」に加入する九州医療科学大学の学生3名も参加しました。

また、自主防災組織からは、長浜町区及び桜小路西区が参加し、延岡市災害対策本部から避難指示が発令されたとの想定で避難を開始。避難所に到着後、簡易テントの組み立てや発電機の実施しました。



【土のう作り、水防工法】



【避難する地区住民】



【簡易テント作成】

小野町区防災訓練

小野町自主防災組織(尾崎徳一会長)は、令和六年五月五日(日)小野営農集会所にて防災訓練を行いました。

8時に地震が発生したとの想定で、避難を開始。地区住民は小野営農集会所へ避難してきました。各組ごと名簿にて避難者の受付を行いました。避難訓練終了後、尾崎区長があいさつ。

その後、水消火器による初期消火訓練、簡易テントや発電機の使用要領、防災推進員から地震に対する備えについて講話を受けました。次に心肺蘇生法及びAED取扱いについて説明を受けたのち、ダンミー人形を使って実技を行いました。

最後に、有限会社旭ケミカルから防災用品について説明を受け訓練を終了しました。



【尾崎会長あいさつ】



【火元を狙って消火】



【消防団員による模範演技】



【防災グッズ紹介】

大貫町中區防災訓練

大貫中區自主防災組織(岡田秀一会長)は、

令和六年五月十二日(日)大貫中區公民館にて防災訓練を行いました。

はじめに、避難者の受付を行い、次に参加者総員が煙体験ハウスにて煙中歩行を体験し、歩行に難しさを感じる事ができました。その後、水消火器による消火訓練を行いました。「いざという時、冷静に操作できるか心配」という住民もいました。その後、防災推進員から能登半島地震や風水害の講話を受けました。地震・津波の映像を見て改めて避難訓練の大切さを感じました。

最後に、区民の融和を図るためレクリエーション大会を行い訓練を終了しました。



【消防団員指導による消火】



【消防団員指導による消火】

川島4区防災講話

川島4区自主防災組織(堀田広己会長)は、令和六年五月十八日(土)川島ふれあい館にて防災訓練を行いました。

防災推進員から能登半島地震をメインに講話を受けました。地震直後の映像や火災が広がった理由など聞いて、日頃からの備えの重要性を感じました。また、川島4区にある津波避難場所について説明を受け「避難訓練を実施して、もしもの時に備えたい」と話す住民もいました。

大武2区自主防災組織（志田豊司会長）と牧区自主防災組織（藤枝清会長）は、令和六年五月二十三日（木）に、星雲高校（宮崎慎二校長）と合同防災訓練「津波」を行いました。

地震発生から大津波警報が発令され放送による避難呼び掛けを聞いた両区の皆さんは、続々と津波避難場所の星雲高校に避難しました。安全を確認した後、危機管理課職員による備蓄品の説明及び正面玄関に設置された地震解錠ボックスの操作要領について理解しました。

「実践的な訓練が出来た」「避難場所への道順が分かった」「地震解錠ボックス設置はありがたい」などの感想がありました。

本訓練には、イノベック協同組合など近隣の企業からも多くの参加者がありました。



【非常用持出袋に帽子】



【地震解錠ボックスです】



【体育館では防災講話】

防災訓練・講話等予定

- 7月1日（月）
・栗野名1区防災訓練
午後7時～栗野名公民館
- 7月6日（土）
・無鹿3区防災講話
午前9時30分～和田越公民館
- 7月7日（日）
・本小路1区防災講話
午前9時30分～
岡富小学校PTA会館
- 7月12日（金）
・北緑ヶ丘区、延岡工業高校
合同防災訓練
午後確認中～延岡工業高校
- 7月14日（日）
・大武1区防災訓練
午前10時～清高島公民館
- 7月19日（金）
・上平原区防砂講話
午後7時～上平原公民館
- 7月21日（日）
・中島町区防災講話
午前9時30分～中島公民館
・大門区防災講話
午前10時～大門公民館
・桜ヶ丘公民館防災講話
午前10時～桜ヶ丘公民館
- 7月28日（日）
・無鹿2区区防災訓練
午前10時～
街区公園・無鹿2区公民館

出前講座

自主防災組織の育成と拡大のための出前講座

- ・内容：自主防災組織の必要性と役割分担及び地域に合わせた防災教育や訓練等の指導（講話・ビデオ・各種訓練・防災グッズ作成等）
- ・会場：各地域（公民館など）
防災研修センター
- ・申し込み先：消防本部
警防課 警防係
TEL22-7105
FAX31-0303

宮崎県防災士出前講座

- ・内容：宮崎県内のご希望の会場に防災士を派遣し、体験学習や講演を中心に防災・減災についての講座を実施
- ・申し込み先：宮崎県防災士ネットワーク
TEL0985-55-0477
FAX0985-55-0467

北浦町総合防災訓練

北浦総合支所は、令和六年五月二十六日（日）に、地震津波対策訓練を行いました。

午前9時に「大地震が発生し、沿岸に大津波警報が発令された」との想定で訓練が開始されました。防災行政無線からのサイレン及び消防団車両による巡回での避難呼び掛けを聞いた各地区の皆さんは、声を掛け合いながら指定された津波避難場所へ避難しました。

北浦小学校（岩切隆人校長）、北浦中学校（中郷浩一郎校長）も地域住民と共に避難行動を行った後、防災学習を行いました。小学生は3GPに分かれて新聞紙スリッパ作成、段ボールバット作成、消火訓練を行いました。中学生は、各学年毎に救命講習、ロープワーク、避難所運営訓練などを体験しました。



【もう少しだよ・・・】



【住民と小・中学校避難完了】



【全員で一斉に初期消火開始】

大門区防災訓練

大門区自主防災組織（田中純一郎会長）は、令和六年五月十八日（土）に、こすもす保育園第2園庭で津波避難訓練を行いました。

停電を想定し東海分団第7部（戸高祐輔部長）がハンドマイク、役員が笛で避難を呼び掛ける工夫を行いました。

避難を終えた地区の皆さんは、災害用簡易トイレを見学した後、防災推進員から非常用持出袋の考え方や断水時のトイレ使用法などの説明を受けました。

今回の訓練では、こすもす保育園の園児も参加し、地区一体となった訓練が出来ました。



【年長さんです。皆さん避難して下さい。】

自主防災組織連絡協議会総会及び防災研修会開催のお知らせ

自主防災組織連絡協議会（森口正輝会長）は、令和六年七月二十三日（火）午後1時30分から自主防災組織連絡協議会総会を行います。自主防災組織未結成の区長の皆様にも参加して頂き結成への参考にして下さい。